

「学生の声の変化・兆しをテキスト分析でとらまえるIR」

令和5年5月25日(木)14時～・東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール

趣旨

教学IRは、学生の成績情報や修了後の進路情報(客観データ)、キャンパス生活の中で行われた学生調査(主観データ)を学生IDによって組み合わせることで、成績レベル別でどのような主観を持っているか、逆に、因子分析により学生生活にある一定の傾向を持つ学生グループの成績の分布状況など、煩雑・複雑な分析作業を行う必要がある。特にアンケート調査においては、近年、共起ネットワークなどのテキストマイニング技術の向上により、自由記述の解析が可能となってきている。しかし、テキストマイニングと定量的な客観データや主観データを組み合わせる解析することは、難しい現状である。そこで、質的なテキスト解析と、量的なデータを組み合わせる新たな解析手法を紹介し、多くの大学で実際に困っている、「学生の声の変化・兆しをテキスト分析でとらまえるIR」について概説する。また、実際にIRを行っている3大学で困っている事例を報告し、皆様とともに、IRにおいて、学生の声の変化・兆しを捉えるテキスト分析手法について考えていきたい。

1. 14:00-14:05 「趣旨説明」 森雅生 (東京工業大)
2. 14:05-14:25 「東工大における教学IR—IR室の取り組みから見た現状と課題—」 (東京工業大学・松本清)
3. 14:25-14:45 「教学IRにおけるテキストマイニングの諸問題とその原因について」 (お茶の水女子大学・古里由香里)
4. 14:45-15:05 「eポートフォリオによる学修成果の可視化と収集したテキストデータの活用」 (九州工業大・大石哲也・福丸 浩史)
5. 休憩15分
6. 15:20-16:10 「クロス表による数値データとテキストデータの分析システムの紹介」 廣川佐千男 (産業技術大学院大)
7. 休憩10分
8. 16:20-16:55 パネル「テキストデータと量的IRデータ」 (司会: 森)
 - ✓ 廣川佐千男 (産業技術大学院大学)
 - ✓ 古里由香里 (お茶の水女子大学)
 - ✓ 大石哲也 (九州工業大学)
 - ✓ 松本 清 (東京工業大学)
9. 16:55-17:00 クロージング